

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第2部門第1区分  
 【発行日】平成18年3月16日(2006.3.16)

【公開番号】特開2003-19497(P2003-19497A)  
 【公開日】平成15年1月21日(2003.1.21)  
 【出願番号】特願2001-206591(P2001-206591)  
 【国際特許分類】

**C 0 2 F 11/00 (2006.01)**  
**B 0 1 F 3/04 (2006.01)**  
**B 0 1 F 5/04 (2006.01)**  
**F 0 4 F 5/04 (2006.01)**  
**F 0 4 F 5/44 (2006.01)**

【F I】

C 0 2 F	11/00	Z A B Z
B 0 1 F	3/04	F
B 0 1 F	5/04	
F 0 4 F	5/04	Z
F 0 4 F	5/44	B

【手続補正書】

【提出日】平成18年1月30日(2006.1.30)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 処理すべき汚泥に対し、エジェクタを用いて、オゾン濃度が $120 \sim 250 \text{ g/m}^3 \text{ N}$ であるオゾンガスを注入することを特徴とする汚泥処理方法。

【請求項2】 前記エジェクタとして、スロート部における液流速 $20 \text{ m/s}$ 以下が可能な大径スロート部をもつ低速型エジェクタを使用する請求項1に記載の汚泥処理方法。

【請求項3】 処理すべきし尿汚泥に対し、エジェクタを用いてオゾンガスを注入することを特徴とする汚泥処理方法。

【請求項4】 前記オゾンガスのオゾン濃度が $120 \sim 250 \text{ g/m}^3 \text{ N}$ である請求項3に記載の汚泥処理方法。

【請求項5】 前記エジェクタとして、スロート部における液流速 $20 \text{ m/s}$ 以下が可能な大径スロート部をもつ低速型エジェクタを使用する請求項3に記載の汚泥処理方法。

【請求項6】 オゾン処理する流動性被処理物へのオゾンガスの注入に使用されるエジェクタであって、スロート部の内径が、前記被処理物の流量を $A \text{ (L/分)}$ として、 $10 \text{ (} 0.01A \text{)}^{1/2} \sim 10 \text{ (} 0.015A \text{)}^{1/2} \text{ mm}$ であるエジェクタ。

【請求項7】 前記流動性被処理物が汚泥である請求項6に記載のエジェクタ。

【請求項8】 前記オゾンガスのオゾン濃度が $120 \sim 250 \text{ g/m}^3 \text{ N}$ である請求項6に記載のエジェクタ。